

愛知と世界をつなぐ プロジェクトを創る！

3 / 6 木
18:30-20:30
場所 ブラザー
ミュージアム

愛知は日本の工業を支える中心地として有名ですが、それだけでいいのでしょうか？
この愛知から、世界をつなぐ「プロジェクト」を応援し、ともに創りだしませんか？

Contents

基調講演 企業はなんのために存在するか？～コロナ禍を乗り越えてみえたもの～
SCIフォーラム代表 犬塚 力（中部国際空港株式会社 代表取締役）

プロジェクト紹介&プレインストーミング

- ① セントレア発！酒・味噌・酢・みりん
愛知発醸造化プロジェクト～ by 中部国際空港株式会社
- ② 日本の綿のルーツは実は「三河」に！
手織りの「おまもり」づくりで新たな地域の魅力へ by 三敬株式会社
- ③ 日本とカンボジアを「カカオ栽培」と「チョコ」でつなぎ、
雇用創出と子どもたちの就学を叶える！ by チョコリコ
詳細は裏面へ

日程 2025年3月6日（木）

時間 18:30～20:30 終了後懇親会あり

会場 ブラザーミュージアム
名古屋市瑞穂区塩入町5-15
名鉄堀田駅より徒歩2分・地下鉄堀田駅より徒歩3分

対象 社会貢献・CSRの企業担当者
NPO・ソーシャルビジネス関係者
SDGsや社会課題解決に関心ある社会人・
公務員・学生・高校生

参加費 無料（懇親会は実費が必要です）



犬塚 力

中部国際空港（株） 代表取締役
SCIフォーラム代表理事



出原 遠宏

ブラザー工業（株）
CSR&コミュニケーション部
SCIフォーラム理事



岩原 明彦

愛知県経営者協会
専務理事
SCIフォーラム理事



市野 恵

地域福祉サポートちた
代表理事
SCIフォーラム理事



小田切須美

中日本エクシス（株）
店舗開発部長
SCIフォーラム監事

主催：一般社団法人SCIフォーラム

SCIフォーラムとは、各企業、個々のセクター・個人の枠を超えて「つながり」、互いに啓発しあうことで、まだまだ解決されていない社会の課題に気づき、イノベーションを興すきっかけをつくる場です。

共催：公益資本主義推進協議会 愛知グループ

公益資本主義推進協議会とは、企業を社会的存在ととらえ、社員とその家族・顧客・取引先・地域社会などステークホルダー全体への貢献（公益）を重視する、日本型資本主義を推進する経営者の集まりです。

[申し込み方法]

右の二次元コードもしくは下のURLのフォームから申し込みください。

<https://forms.gle/ppPi9a9CwxCmCUZn7>





	18:30	開会
タイム	18:35	基調報告 企業はなんのために存在するか? 講師 犬塚力氏
	19:00	プロジェクトピッチ×3 「地域×世界で生み出すもの」
テーブル	19:30	3グループに分かれてブレスト&シェアリング
(予定)	20:15	まとめ
	20:20	参加者からのPRタイム
	20:30	終了 その後、懇親会へ

✈ プロジェクトピッチとブレストで可能性を広げる!

このフォーラムでは、プロジェクトを簡単に紹介するプレゼンと、参加者とディスカッションしたい問い(解決したい課題)を出していただきます。参加者が関心あるプロジェクトのグループにわかれて、その問いに対して自由な意見だし合う「ブレインストーミング」を行います。今回登場する3つのプロジェクトを紹介します。

今回のお題となるプロジェクト

✈ セントレア発! 酒・味噌・酢・みりん = 愛知発酵県化プロジェクト~ by 中部国際空港株式会社

愛知は、ユネスコ無形文化遺産に選ばれた「酒」はもちろん、八丁味噌や、酢やみりんなど、発酵を活かした食文化が長年受け継がれてきた県。これだけ発酵の技が集積しているにもかかわらず、それらをまとめて発信していくことはありません。そこで、中部の世界への玄関口となっているセントレアが呼びかけ、愛知を「発酵」の聖地として世界へとPRできないか、というプロジェクトが動いています。そのプロジェクトをさらに加速できるよう、ブレストしましょう!



✈ 日本の綿のルーツは「三河」に! 手織りの「おまもり」づくりで新たな地域の魅力へ by 三敬株式会社



今、浅草では外国人に「おまもり」を手織りするワークショップが大人気。これを仕掛けたのは、蒲郡で古くから綿織物の技を受け継いできた三敬株式会社。「はぐまむ」というブランドで、体にやさしい綿製品を製造・販売する会社です。

この愛知は、日本に綿花栽培が海外から伝わった発祥の地。西暦799年に三河の海に漂着した小舟にのったインド人が日本に綿花栽培を広めたとのこと。その方を「棉祖」として西尾市の天竹神社でいまでも祭っています。日本の綿栽培・綿製品をつくる技術は、担い手も減少しています。手織りの「おまもり」をきっかけに、地域連携で世界に伝える新しい魅力を創りませんか?

✈ 日本とカンボジアを「カカオ栽培」と「チョコ」でつなぎ、雇用創出と子どもたちの就学を叶える! by 合同会社チョコリコ

チョコリコは「チョコレートでみんなを笑顔に。カカオで世界を幸せに。」というビジョンを掲げ、カンボジアでのカカオ栽培と、現地から直接輸入したカカオ豆でBean to Barチョコレート製造・販売する事業に取り組んでいます。目的はカンボジアでの雇用創出と子どもたちが普通に学校に通える仕組みを作ること。カンボジアでは3haの自社カカオ農園がいよいよ完成し、現地スタッフも雇用、2年後には自社カカオ農園で収穫したカカオ豆を使ったBean to Barチョコレートの製造も開始予定です。また、昨年6月からはラオスでのカカオ農園づくりもスタート。

愛知発のカカオ栽培とBean to Barチョコレートを通じて「途上国支援の在り方」を考え、世界とつながるプロジェクトを創造してみませんか?

